

仙台の今、未来への責任！

■発行/仙台市議会議員 野田ゆずる
〒981-3121 仙台市泉区上谷判3丁目7-29-D103 Tel&Fax 022 (739) 9630

野田ゆずる議会レポート

令和5年第2回定例会報告

<https://www.y-noda.net>
info@y-noda.net

■ご意見・ご要望がありましたらお気軽にお寄せください。



▲令和5年第2回定例会一般質問

今回の議会レポートは、令和5年第2回定例会報告です。定例会初日には、補正予算案や条例案など議案27件が提出され、このうち2件の人事案件は即日採決し同意されました。

今回のレポートは、私、野田が一般質問に登壇した際の質問と答弁、又、自由民主党の代表質疑の質疑と答弁の一部を記載させていただきました。是非、一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

また、市役所新本庁舎の整備に向け、議事堂の解体を行うため、役目を終える議事堂の歴史に敬意を表するため、日本会議場でセレモニーが行われました。

令和5年第2回定例会 野田ゆずる一般質問より

七北田公園、ユアテックスタジアム仙台について

野田 スタジアムを“賑わいを生み出す場所”とし、多用途な利活用を受け入れる設備機能や、Jリーグでの使用に耐え得る芝の保全と開催日以外の利活用を両立する方策など、幅広く検討、議論すべきと考えるが、如何か。

答弁 地域の活性化に資するよう、様々な用途での利用を拡大していくことが肝要である。今後、利用団体等とも意見交換を行い、さらなる利活用の促進に取り組んでまいりたい。

野田 七北田公園も35年が経過し、周辺環境の変化や利活用の状況、地域の意向等を踏まえた改修、リニューアルが必要な時期を迎えている。私は、サッカースタジアムを有する総合公園として、球団や地域とも力を合わせ、ハード・ソフト両面からの魅力アップを図り、スタジアムと共に泉中央地区の賑わいづくりに貢献していくべきと考えるが、如何か。

答弁 公園のさらなるにぎわい創出を目指し、地域団体と連携して、イベントの開



催支援や仮設飲食店の設置等にも実験的に取り組んでいる。今後、取組結果を踏まえ、さらなる利活用方策や必要な施設整備について検討を進めたいと考えております。

都市計画道路宮沢根白石線について

野田 路線全体で見ればいまだ未着手の状況だ。小松島新堤から南光台へ及び南光台工区は、用地調査がなされ、今年度以降の動きに大いに期待しているが、現在の宮沢根白石線全体の整備率、当該工区の整備概要や事業認可の見通し、今年度の予定について伺う。

答弁 今年度から着手する南光台工区について、事業期間をお示しすることは難しい。宮沢根白石線の浦田工区や今年開通した南鍛冶町工区などは、おおむね20年程度の事業期間を要しているところだ。

都市計画道路の整備は、優先度の高い路線について重点的に整備を進めている。

宮沢根白石線の国道4号より北側の区間は、新たな幹線道路として整備されることにより周辺道路の混雑緩和が期待されるが、事業化については、本市全体の都市計画道路の整備の進捗状況や周辺の交通状況の変化などを総合的に勘案し、判断してまいりたいと考えております。

野田 工事に当たっては、地域経済の活性化や地元企業育成の観点が重要で、中小企業の受注機会の拡大、昨今の建設業界の労働者不足の状況や働き方改革の要請を踏まえた、適正な工期設定などにも十分配慮する必要がある。

業界団体等の声にしっかり耳を傾け、実情を踏まえた、よりよい発注の在り方を模索していく必要がある。現在の取り組みと今後の対応については、如何か。

答弁 本市の工事発注に当たりましては、地域経済の発展、活性化を図る観点から、可能な限り地元企業を優先するよう努めております。

また、担い手の確保や働き方改革の推進に向け、これまで、適正な工期設定や原則週休二日とするなど、就労環境の改善に資する取組も進めてきたところだ。

観光振興について

野田 人流が戻ってくる本年度を観光再生元年とし、全庁挙げた取り組みを進め、本市の持続的な発展と国内外から選ばれる街を目指す取り組みが必要だ。

しかし、全国的な人手不足の状況で、本市の取り組みに冷や水を浴びせることになる。本市は、宿泊業や飲食業などの人手不足の現状について、どのように把握しているのか。

また、人手不足に対応するためには、デジタル化による労働生産性の向上や雇用の安定などが求められる。

具体的にどう支援していこうと考えているのか。



答弁 4月には観光交流推進本部会議を立ち上げ、様々な視点から新たな観光資源を発掘し活用すべく、全庁的な推進体制を整えたところだ。

引き続き、仙台の観光地としての価値をさらに高め、国内外にその魅力を強力に発信していくことで、選ばれる都市の実現を目指してまいりたいと考えている。

選挙啓発について

野田 7月に市議会選挙、10月に県議会選挙が予定されている。前回4年前の投票

率は、市議会選挙が36.07%、県議会選挙が30.35%と低迷が続いている。

投票率向上に向け、期日前投票の要件緩和など投票環境の改善はもとより、若者を中心とした有権者の政治意識を高め、投票行動につなげていくための取り組みが欠かせない。有権者の政治への関心を高めていく必要がある。今後の意識啓発や投票率の向上に向けた取り組みは如何か。

答弁 若者向けにActivate仙台によるツイッターを活用した啓発にも力を入れている。投票率向上に向け、短期的な取組だけでなく、主権者教育や出前授業の実施などの中長期的な取組が重要と考えており、引き続き、教育委員会や学校へ呼び掛けを行い、こうした取組を推進していきたいと考えております。

給食費無償化について

野田 私は子供たちの成長を第一に考え、これからも安全でおいしい給食を提供することが最優先であると思う。

本市独自の無償化に新たな財源が必要なのであれば、その財源は、さらなるメニューの多様化と充実、地産地消の推進など安全・安心でバランスの取れた魅力ある給食、先進自治体を超える全国一の給食を目指し、給食の質の向上に振り向けるべきではないかと考える、如何か。

答弁 学校給食の無償化に際しては、子育て世帯への経済的支援という側面がある一方、多額の財源の継続的な確保が必要という点が論点となっている。

本市としては、国において、自治体間で格差が生じることのないよう、全国一律の制度創設と財政措置が講じられることが不可欠であると考えている。

地場産品の活用は、児童生徒の食育や地産地消といった観点からも重要なものと認識しており、今後も、食育月間や学校給食週間などの機会も捉え、地元産の食材を積極的に活用し、食育、地産地消を推進してまいりたい。



令和5年第2回定例会 会派 自由民主党 代表質疑より

G7 仙台科学技術大臣会合について

質問 秋保地区を会場に開催された G7 仙台科学技術大臣会合について伺う。

各国から閣僚をはじめ多くの関係者が参加されたが、本会合への評価として参加者からどんな声が寄せられたのか、また、会合開催による地域への波及効果はどの程度あったと認識しているのか伺う。

今回の会合の開催は、本市にとって大変大きな実績になったと感じているが、これに満足することなく、次の新たな展開へと繋げ、さらなるステップアップを目指していく視点が極めて重要だ。今後の市政にどう活かしていくつもりか、市長の所見を伺う。

答弁 参加された大臣からは防災分野をはじめ、本市の科学技術の力で地球規模の課題解決を目指す取り組みも高く評価いただいております。防災環境都市、学都としての仙台の強み、また魅力を世界へ強くアピールできたものと思っています。

各国参加者にもご好評いただいた仙台・東北の自然、あるいは歴史・文化といった多彩な魅力を効果的に発信をして、海外からの誘客の拡大にもつなげていくなど会合の成果を今後の市政の様々な分野に波及させていきたい。



国連ハイレベル会合について

質問 仙台市長として国連の首脳級会合に招かれたのは初めてであると伺ったが、改めて今回市長が登壇した会議の概要と、経緯を伺う。

また、市長はどんな内容を発表発言してきたのか。大役を務め終えた感想と合わせて伺う。

防災環境都市として国際的に高く評価され続け、世界をリードする都市であり続けるための取り組みが必要だが、所見と今後の取り組みについて伺う。

答弁 仙台防災枠組みの進捗と今後の取り組みに関する会合に出席し、震災からの「より良い復興」について、仙台防災フォーラムや BOSAI-TECH 等の、市民や企業の皆様との連携による取り組み事例等について発表をした。

「仙台」の名を冠する国際的な枠組みを進める、本市の取り組みを国内外に発信し、世界が直面する課題に対して国際的に貢献できる都市となるように力を注いでいく。

補正予算の編成の考え方について

質問 地域経済は、コロナ禍からの回復もままならない中、エネルギー価格や食料品等の値上げが市民の暮らしを直撃し、新たな課題に直面している。

この度、補正予算案の提案があったが今回の国の交付金に対し、どんな考え方で補正予算の編成を行ったのか、基本的な考え方を伺う。

答弁 食材価格の高騰が著しい中において福祉施設の利用者や、児童・生徒等が、栄養バランス等を保った食事を確保できるよう配慮するとともに、市民生活に欠かせない社会インフラを支えている公共交通事業者や医療機関に対する経営支援などを中心に、生活者と事業者の両面を支援するための必要な予算を確保した。

新たな学生フリーパスについて

質問 これまで学都仙台フリーパスが利用できなかった多くの学生が待ち望んでいる制度である。令和6年度末までの制度導入にとらわれることなく、早期の実現を求めたいが如何か。

答弁 新たな学生フリーパスは、学生の移動支援並びに公共交通の利用促進を図るという事はもとより、若年層に公共交通の利便性を知ってもらい、また持続可能な路線バスネットワークの構築にも寄与すると考え導入することとした。多くの皆様方が待ち望んでいる制度でもあり、早期の実現に向けて取り組んでいく。



質問 対象範囲が大幅に広がることで、学生にとってはより利用しやすくなり歓迎するところだが、販売価格がいくらになるのかが最も関心のあるところだ。価格設定の考え方について伺う。

答弁 学生の移動を支援するという観点から、宮城交通の通学定期の平均販売額となる約12,000円よりも低廉な価格となるよう、今後交通事業者と協議を行っていく。

医療機関物価高騰対策支援事業費について

質問 医療機関物価高騰対策支援事業費として2億9千万円余りが計上されている。改めて、この時期に医療機関を支援することとした理由、目的について伺う。

答弁 保険診療は診療報酬によりサービスの公定価格が決まっており、医療提供に関わるコストが上昇した場合も、それに応じた診療報酬収入を得ることが難しい。

前回の診療報酬改定から一年余りが経過しており、この間物価高騰は収まらず、医療機関の経営努力のみで対応する事は難しい状況にあることから、支援策を講じる必要があると考え実施することとした。

質問 今回の助成対象を病院、診療所、助産所とした理由について確認するとともに、今後同様の助成を行う際、対象をより幅広く考える必要があるが所見を伺う。

答弁 今回の事業に関しては物価高騰において薬剤等の投与に必要な注射器、各種チューブや、消毒に用いる医療資器材等に関わる影響を勘案して、その影響を直接的に受けている病院・診療所・助産所を対象とした。

4 病院の再編について

質問 県立精神医療センターの移転案に対しては、患者やその家族、そして、精神医療の最前線にいる医療関係者からの反対の声が大変大きくなっている。県はこれらの意見を重く受け止め適切に対応すべきであり、本市としても県に対してさらに声を上げていくべきだが如何か。

答弁 本市としても県に対し早急に当事者や関係者との対話の機会を設け、その意見を尊重した上で適切に判断するよう求めていきたい。

質問 本市としても当事者である市内2病院の意向も確認しながら、市外に移転した場合の影響を評価するとともに、県に対し求めるべきことをしっかりと行っていく必要がある。市長の認識を伺う。

答弁 再編案の提案者である県に対しては移転後の地域への対応も含め仙台医療圏全体の医療提供体制を確保するという責任を果たすよう、住民や患者さん、それから医療関係者の不安や疑問にこれを真摯に受け止めて拙速に協議を進めることなく、慎重かつ丁寧に検討を行いを引き続き強く求めていく。

その他の質疑項目

- 国連ハイレベル会合 ○脱炭素都市づくり
- ナノテラス ○今後の観光振興 ○全国都市緑化仙台フェア
- 新型コロナウイルス感染症の5類移行 ○子育て支援等多岐にわたり質疑を致しました。

声をお聞かせください

仙台市や地域に思う事または、行政や国に対して思う事など皆様のお考えをお聞かせください。左記のハガキにお書きいただき、お近くのポストにご投函お願い致します。

郵便はがき

9 8 1 - 3 1 9 0

(受取人)
泉区上谷刈3丁目7-29
D棟103

仙台市議会議員(泉区)

野田 ゆずる 行

あなたの声をお聞かせくださいお聞かせください



料金受取人払郵便

泉承 局認
3062

差し出し有効期間
2025年
4月30日まで
切手不要

お名前	フリガナ	生年月日
〒住所	□□□□□□□□	
電話番号	()	ご職業
アンケート	あなたが重視する、仙台市政の課題は何でしょうか?(複数回答可) <input type="checkbox"/> 安心・安全の防災対策 <input type="checkbox"/> 価格高騰への支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援・教育の充実 <input type="checkbox"/> 行財政改革・議会の活性化 <input type="checkbox"/> 福祉・介護の充実と弱者支援 <input type="checkbox"/> 国土強靱化・インフラ整備 <input type="checkbox"/> 地元経済の活性化 <input type="checkbox"/> 4病院再編への対応	
ご意見		

皆様からご記入いただきました個人データは「野田ゆずる議会報告」等の連絡などに使用しそれ以外の使用はいたしません。